

あなたの夢を、暮らしを応援する住宅情報紙



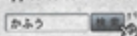
かふう

毎週金曜日発行

2016.2.26

Vol.543

<http://www.kafu.jp>



第30年の家づくりを素材でよみかた
無添加工住宅 リノベーション
(定額制)

無添加工住宅 正規代理店 SaiaS Home
サイアスホーム株式会社
〒900-0004 沖縄県那覇市読花1-11-9 ☎0120-881-080

新報 リビング ニュース



目次 **こんな家に住みたい 名産市 Kさん宅** 住むほどに満足度が深まる穏やかな平屋

- | | | | | | |
|----|--|----|----------------------------------|----|-----------------------------------|
| 5 | ギャラリーに行こう
ゆいまーる沖縄 本店 | 12 | 技人
バンブーランプ職人 安里健一さん | 15 | ガーデン
森を訪ねて |
| 8 | どうする住宅資金
不動産を売却したとき | 13 | うちなあ点描
震災に救われた「フラット化」
稲垣 暁 | 23 | 相続登記の勧め
震災に救われた「フラット化」
稲垣 暁 |
| 11 | ドキュメント家づくり
古都首里を楽しむ
シンプルな空間のカフェができるまで③ | 14 | ペット
ファミリーホーム / ZOOウォッチング | 24 | 暮らしを楽しむテーブルコーディネーター
ひな祭り編 |
| | | | | 26 | かふう選報 |

10th Anniversary
おかげさまで
週刊かふう
創刊10周年

琉球新報
発行 / 琉球新報社
〒900-8525 沖縄県那覇市天久905 ☎098-865-5014
企画・編集・制作 / (株)正広コーポレーション
〒900-0004 沖縄県那覇市読花1-11-9 ☎098-841-8112
購読のお申し込み **0120-39-5069**

撮影・星比呂光史 「かふう」とは、「沖縄語辞典」によれば「乗船。幸運（にめぐり合うこと）」とあります。「かふう」であなたの幸せを見つけてください。

こんな家に住みたい **31** 名護市 Kさん宅

住むほどに満足度が深まる穏やかな平屋

ウジ畑に隣接したのどかな環境に建つKさん宅は、親子3人が暮らす平屋の住まいです。玄関を開けると、和室とLDKが一体となった開放的な空間が広がります。キッチンには、家事効率を考え抜いた間取りが展開しています。明るく風通しも申し分なく、住むほどに使いやすさを実感しています。

フクギ並木の集落から移転・新築。温故知新の家づくり

Kさんご夫妻の新居があるのは、フクギの原敷林に囲まれた旧居が建つ、古くからの集落の目と鼻の先。約5年前、親類から現在の土地を譲り受け、移転・新築の計画が持ち上がりました。当初は「伝統的なしきたりを少し崩して、自分たち好みの設計プランを取り入れたいけれど、果たして問題ないだろうか」との漠然とした不安を抱えています。しかし、建築士の「大丈夫ですよ」とのひと声の後押しによって、計画はスムーズに進みました。

「今まで暮らしてきた旧居は、40年以上前に建てられた、沖縄民家の典型的な間取りの家でした。集落の形態も関係しているのかもしれませんが、周囲の家も皆同じくくりで、老朽化などで建て直すことがあっても、以前と同じ間取りにする家が多かったです。今回はこちらたく新しい環境ということもあり、希望のプランを簡単なスケッチにまとめて、建築士さんと相談を始めました」と奥さまは振り返ります。

建築士とは知人の紹介で

知り合いました。話をしているうちに、「私が仕事で携わっている施設や、他の知人宅を手がけた実績があることが分かり、「あれだけの建物の設計ができるなら」と、迷わず安心してお願いできました」とご主人。他の業者を調べたり、完成見学会を回って情報を集めたりすることは、ほとんどしなかったそうです。お2人が望んだ住まいは、大空間を確保しました。



対面キッチンを持つので団らん風景。キッチン回りに造作したカウンターは、「子どもが大きくなってから」とお預けにして、現在は家族でゆっくり顔を合わせられる環境を優先

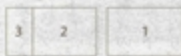




キッチンと水廻りをつなぐ動線上にある家事コーナー。坪庭に囲んで大きく窓を取り、日中は照明要らず。机も棚も溢り付けです



1. 和室からLD越しにキッチン方向を眺める。和室は時に、ご主人が得意とする三線の練習場所に。仏壇は当初、既製品を設置する予定でしたが、新築時に一緒に造り付けてもらいました
2. 敷地南東面の真に向かって、リビングの壁外にデッキを配置。上部は虫(ひま)しに覆われているため、ちょっとした雨や日差しをしのぐことができ、また南東からの風を室内に引き入れる通風の要所にもなっています
3. 奥さまのこだわりを詰め込んだお気に入りのバスルーム。浴槽の小窓からは坪庭が見え、湯船につかれば一層快適なバスタイムが過ごせます



上ノ子ども書斎、はりの戸を開ければ、読書台と読書机、使えます
下ノ主寝室戸に設けた読書机は現在、主書斎の読書台です



玄関正面に和室、浴室脇に坪庭。こだわりの間取りで生活に調い
間取りを決める上で最も気がかりだったのが、仏壇のある和室の位置でした。「いくら納まりがいいとはいえ、玄関を開けてすぐ正面に置くのは、慣習的に問題ないだろうか」と考えていました。そして対して建築士は、「たくさんの人が訪れる家。仏壇の存在を常に意識してもらえるのは、逆にいいことでしょう」と気さくにアドバイス。そして実際に住み始めてみると、

畳間の下部を引き出し収納にして腰掛けられるように造作したこともあり、「わが家へ立ち寄りしてくれた人が、ちよつとの間だけ休憩する場所として、とても役立つていまして」とのことです。奥さまのちよつとしたこだわりは、バスルームに併設した坪庭スペース。「敷地の有効利用だけを考えれば、無駄な場所であることが分かってはいたのですが、どうしてもほしかったの

「昨年暮れに新居ができ当初は、「自分たちの家ではない気がして、落ち着かなかった」と話すご夫妻、きめ細かな設計意図に実生活もほとんどくみ込まれ、今がなじみ頃。建築中はまだ幼かった長女も小学生になり、キツチンの真横にある個室を手に入れました。台所作業中も目が届いて安心、でも勉強時間だけは、「アップキのほうがかはかどるみたい。暖かい時期はテーブルを運んで、友だちと一緒に勉強していました」と奥さま。間もなくうりずんの季節。新店で迎える2度目の春まであとわずか。

で」と初志を貫徹。壁面のパネルの色もグリーンにまとめて、安らぎ深い空間を演出しています。またこの坪庭は、キツチン奥の家事コーナーからも眺めることができ、日常のささやかなシーンに光を調いを届けてくれます。

家族構成：夫婦、子ども1人
所在地：名護市
設計：有限会社緑設計
(担当/又吉・鎌田)
建築：有限会社山口建設
敷地面積：495.99㎡(約150.00坪)
建築面積：140.63㎡(約42.54坪)
延床面積：124.00㎡(約37.51坪)
用途地域：未指定
構造：壁式鉄筋コンクリート造平屋建て
完成時期：2014年12月

DATA



1. キッチン裏の家事動線。右手の廊下沿いにトイレ、洗面室、バスルームが連続し、向かい合うように壁面収納も用意。左手は主寝室
2. キッチンからの眺め。LDには南東面窓にハイサイドライトを設けて勾配天井に、視線が上面にも掛けるので、開放感が高まります
3. 玄関。造り付けの靴箱のほか大容量のシューズクロゼットを設置。上がってすぐの場所に和室があり、正面に仏壇が見えます

3 2 1

こんな **住みたい** 名護市 Kさん宅
住むほどに満足度が深まる穏やかな平屋

名護市生まれの漆喰
「琉球の塗り壁」で
生活臭を抑え、
自然な風合いを楽しむ



Kさん宅の室内壁面には、沖縄産の風化造礁サンゴを主原料にした漆喰「琉球の塗り壁」を施工しています。優れた調湿作用に加えて、生活臭を吸着・分解・消臭する働きもあり、健康的な空間づくりに役立ちます。また仕上げ方によって多彩な質感・テクスチャを表現できる、自然な風合いも大きな特長です。

■一級建築士事務所 有限会社結社(ゆい)設計
(代表/又吉光明)

名護市大北5-1-23
tel.0980-52-0700 fax.0980-52-0705

エントランスから玄関を見る。
白を基調にまとめたシンプル
な外観が、森の緑と調和して
爽やかな雰囲気を演出

一級建築士事務所 有限会社結社(ゆい)設計

計画地は北面が接道する南北に細長い平坦地で、面積は約150坪。広さに余裕があるとはいえ敷地を目的に使いわす、将来子どもが果立ったあとでも夫婦2人で無理なく暮らせることを念頭に、プランをまとめていきました。

間取りで最も意識したのは、家事動線の組み立てです。洗濯物を干したり、ごみ出しをしたり、毎日の家事をいかに楽にこなせるかは、家の住みやすさを左右する大きな要素です。Kさん宅でもその点に配慮しながら、要望のあったバスルーム併設の坪庭や水回り、

収納、勝手口などのレイアウトを、回避性のある動線の中に落とし込んでいきました。

一方で生活の中心の場となるLDKは、敷地長辺の一端が東から南東を向いた好条件を生かし、明るさと開放感を追求しました。掃き出し窓の上部にハイサイドライトを設けることで、天井高を上げるとともに採光を促し、リビングと子ども室に囲まれた空間はデスクスペースに充て、屋内外のつながりを演出しました。またKさんから相談のあった和室の配置については、訪問客が玄関と和室をひと

まとまりの空間として利用しやすいようにすればいいのではないかとアドバイスしました。

内装の仕上げは自然素材を中心に使用しました。床には無垢(むく)のチーク材を施工し、壁面は地元名護市生まれの漆喰(しっくい)「琉球の塗り壁」をベースに、ポイントごとに杉板張りを組み合わせました。このほか屋上には、並べるだけで日射熱の侵入を効果的に抑制できる、糸満市の伊

家事を意識した動線計画で 住みやすさを高める

将来の生活まで見越した設計プラン。仕上げは自然素材を多用し健康的な住空間を実現——一級建築士・又吉光明さん談



又吉 光明さん

是名ブロック工業製の透熱ブロックを設置。真夏でも熱がこもりにくい快適な室内環境を実現しています。

